

ごあいさつ



盛夏の候、市民の皆様方には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、湖誠会に對しまして温かいご支援ご厚情を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、今回の新型コロナウイルスは、今までに経験したことのない感染症で、さまざまな分野に大きな影響をもたらしております。本来であれば、琵琶湖や比良比叡の山々などに涼を求め、多くの方が本市を訪れる季節ではありますが、新型コロナウイルスの影響により夏を心から楽しむことができない方がたくさんおられると思います。

わが湖誠会では、新型コロナウイルスに対する市民の皆様方の不

安を少しでも軽減するため、これからも感染拡大の防止とともに検査体制の充実や献身的な努力を続けておられる医療機関や医療従事者、ソーシャルワーカーへの支援に努めてまいります。

また、新型コロナウイルスにより生活に困りの方や事業継続のために懸命に努力されている事業者の皆様の声に耳を傾け、積極的な施策の提案などにも尽力してまいります。

湖誠会は二元代表制の一翼を担う市議会の責任ある会派として、所属議員一丸となって誠心誠意市民の皆様に取り組みでまいる所存であります。

今後とも湖誠会ならびに会派所属議員に對し変わらぬご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。ごあいさついたします。

幹事長

竹内 照夫

前列右より

津田 新三議員

竹内 照夫議員

竹内 基二議員

草野 聖地議員

後列右より

近藤 眞弘議員

仲野 弘子議員

川口 正徳議員

寺田 英幸議員

令和2年度 6月補正予算のポイント

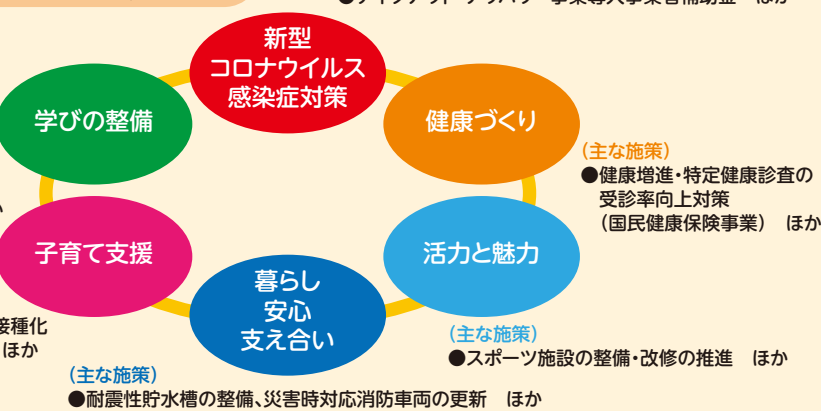
一般会計 40億3,119万円
特別会計 5,682万円
○卸売市場事業 2億7,002万円
○国民健康保険事業 1,241万円
○学校給食事業 △2億2,561万円

(主な施策)

- 子育て世帯への臨時特別給付金……児童1人 1万円
- ひとり親家庭への市独自臨時給付金……児童1人 2万円
- PCR検査体制の充実に向けた地域外来・検査センター設置運営(ドライブスルー方式による検体採取の実施)
- テイクアウト・デリバリー事業導入事業者補助金 ほか

(主な施策)

- オンライン学習の推進(必要な家庭への学校PC端末の貸与と家庭の通信環境の整備補助金)
- 学習用端末の配備(小学校4～6年生、中学校全生徒を対象) ほか



補正予算が決まりました

6月8日から始まりました6月通常会議においては、大変厳しい財政状況の中、本市は当初予算においては「骨格予算」の性格に留め、本格的な肉付け予算の協議を経たうえで6月に編成されるところでありました。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により社会・経済が劇的な影響を受け、この対策を講じることが最優先であるとの判断に至りました。そこで、今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染症対策を目的とし、かつ、本格予算として編成すべきとしていた事業については、市民サービスへの影響も考慮したうえで、本補正予算に計上した事業がある一方で、一部の事業については、事業の時期を見据えたうえで、予算計上を見送る措置となりました。

政策検討会議 趣旨

平成26年3月、本市議会では、地方議会初の議会BCPを策定し、災害発生時における議会としての機能維持の必要性を全国に先駆けて示し、随時見直しを行ってまいりましたが、今回のような感染症に對しては、想定が十分ではありませんでした。

今回の新型コロナウイルス感染症を教訓とし、議会として、また、議員として市民の皆様のために何ができるのか、どのような行動をすべきなのかを検討して、大津市議会が、非常時においても議事機関としての機能を維持することで、34万大津市民の福祉向上と市政発展につながるよう、活発な議論を行い、スピード感をもって、議会BCP(業務継続計画)のバージョンアップを図っていくものです。

感染症に係るBCPの見直し

これまでの経緯

・議会BCPについて

地震、風水害などの自然災害を中心に想定したものの。平成26年3月作成

政策検討会議の設置(要点)

今回、新型コロナウイルス感染症に係る政策検討会議を設置し、主に次の項目について検討を進めます。

- 1、感染症に係る議会BCP発動基準、行動形態、時系列基本行動パターンの検討
- 2、被災ステージに応じた議会活動の想定
- 3、新型インフルエンザ等対策業務継続計画における発生段階別に定めた議会活動を想定したもの
- 3、本会議、委員会等へのウェブ会議の導入検討

議論、意見集約事項(検討事項)

- 1、感染症対策の作成 ※現行とは別のもの
- 2、市議会が感染者が発生した場合の対応
- 3、議会災害対策会議の設置基準
- 4、発生段階に応じた議員・職員の行動基準
- 5、議会局非常時優先業務(議会BCP)等
- 6、市民から寄せられた要望等の執行部への送致手法、情報提供



私たち湖誠会は、みなさまとよりよい大津を目指します

① 津田新三 政調会会長



皆様のご理解の中で、堅田駅西口区画整理事業も完了を迎え、これから堅田駅西口地区は人口の増加が予想されていますが、周辺の道路整備などまだまだ課題が山積しています。今後も整備に向け取り組むと共に、景観づくり、商工業の振興など総合的な施策の充実に全力を傾注します。

② 仲野弘子



堅田学区では県道高島大津線の仰木口交差点から東側へ延長540m幅員14mの都市計画道路3.5.101号が事業認可を受け、今後通学路の安全、観光駐車場へのアクセス強化が図られ道路整備の完成に取り組めます。

③ 草野聖地 幹事(会計)



地域の皆さんが互いに協力しあって、豊かな生活が出来るように、また、子どもたちの笑顔がひとつでも多くなるように、地元の議員として出来ることを精一杯取り組んでまいります。

④ 竹内照夫 幹事長



皆様のご協力により、念願であった膳所駅北側駅前広場が竣工し、市内有数の交通結節点として、ますますの発展が期待されます。今後はさらに、南側駅前広場の整備による膳所駅南北の導線の強化をすすめ、利便性の向上に取り組んでまいります。

⑤ 竹内基二 副幹事長



コロナ禍に市民の皆様と立ち向かいます。感染拡大の防止を進め、医療体制の充実と医療機関や医療従事者の皆様を支えます。自粛により事業継続が困難になっている中小事業者や不安を抱える市民の皆様への支援策を拡大し、地域経済の回復に努めます。

⑥ 近藤真弘



前年度、議長の職を大過なく全うできましたのは、皆様のご理解とご協力のお蔭であり、衷心より御礼申し上げます。公約であった「市政課題広聴会」も制度化でき、今後は、市政の重要課題の解決に取り組み、これも活用し市民のお声を市政に反映してまいります。

⑦ 寺田英幸



新型コロナウイルス感染症防止にあたり、その困難に耐え努力をされる大津市民の心身を支え、日々の暮らしを守っていきける町づくりを真剣に取り組めます。これからも大津、地元で、現場の声を大切に、日々『利他を尽くす』政治をします。

⑧ 川口正徳 政調会副会長



大津市南部地域の活性化を目指しつつ、市民が安心・安全に暮らせ、インフラ整備や防災対策にもしっかりと取り組み、笑顔あふれる地域になるよう皆さんの声に傾聴し、大津市を始め関係機関に対し、要望活動を推進して参ります。



大津市MAP

●児童生徒、園児への対応について
休校園中の子どもたちへの対応として、再開を見据えた登校園日の拡大を検討されたい。さらに、進学を控えた児童生徒には、WEBを活用した授業を導入されたい。何

●PCR検査の拡充について
全国的にPCR検査のキャパシティと実施数が少ないとの指摘があり、各自自治体では独自に検査体制を拡充されている。本市においても対応病院や医師会と協議の上、可能な限り医療従事者への負担を軽減する形での検査体制拡充を早急に実現されたい。

●その他、国の支援ならびに本市の支援について、申請手続きサポートの対応や、特別定額給付金の申請受付と給付の対応など市民目線に沿ったものにするを求める。

●PCR検査の拡充について
① 5月7日、湖誠会より市執行部に提出しました。
本市は、本庁舎でクラスターが発生したことによる閉庁など、新型コロナウイルス感染症にかかる対応が十分との指摘もある。よって、以下の要望と提案の検討を求めている。

●PCR検査の拡充について
② 6月19日、大津市議会は、湖誠会はじめ各会派からの提言を集約し、提言書として佐藤市長並びに島崎教育長に手渡しました。

●PCR検査の拡充について
第2波第3波の感染拡大を想定した38の提言項目を6つのカテゴリーに分類し、感染の再発防止と「新たな日常」の確立に向けた提言を行った。特に、市民への積極的な情報発信、医療・福祉体制の強化、学校教育の拡充など、本市において早急に取り組むべき施策を中心に構成している。

●PCR検査の拡充について
第2波第3波の感染拡大を想定した38の提言項目を6つのカテゴリーに分類し、感染の再発防止と「新たな日常」の確立に向けた提言を行った。特に、市民への積極的な情報発信、医療・福祉体制の強化、学校教育の拡充など、本市において早急に取り組むべき施策を中心に構成している。

●PCR検査の拡充について
第2波第3波の感染拡大を想定した38の提言項目を6つのカテゴリーに分類し、感染の再発防止と「新たな日常」の確立に向けた提言を行った。特に、市民への積極的な情報発信、医療・福祉体制の強化、学校教育の拡充など、本市において早急に取り組むべき施策を中心に構成している。

●PCR検査の拡充について
第2波第3波の感染拡大を想定した38の提言項目を6つのカテゴリーに分類し、感染の再発防止と「新たな日常」の確立に向けた提言を行った。特に、市民への積極的な情報発信、医療・福祉体制の強化、学校教育の拡充など、本市において早急に取り組むべき施策を中心に構成している。

6月通常会議一般質問

※質問順に掲載しています。

Q

寺田 英幸 議員

今後の住宅密集地域の区画について

去る5月29日深夜の瀬田南学区の建物火災は、古い町並みが残る住宅密集地域で発生したため、初期消火活動が困難となり、その後の避難誘導や支援活動にも影響があったと考える。そこで防災の観点から、住宅密集地域の区画をどのように解決していくのか、見解について伺う。

A

住宅密集地域は道路幅員など防災上の課題があるため、緊急車両の進入など、地域の防災機能強化や居住環境改善を目的に、国庫補助事業として生活道路整備促進事業に取り組んでいる。市道隣接者の方に土地を提供して頂き、本市が道路拡幅を行う効果的な事業手法であることから、今後も住民や事業者など関係者に事業周知を図っていく。



質問、答弁は一部抜粋です。詳しくは大津市議会ホームページをご覧ください。